

令和 3 年 4 月 1 日

令和 3 年度学校経営方針

比治山女子中学・高等学校

はじめに

令和元年度に比治山女子中学・高等学校は創立 80 周年を迎え、創立 90 周年に向けて新たなスタートを切ったところであるが、新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大に伴い、令和 2 年度実施予定の重点事業の多くは延期や中止、もしくは大幅な見直しを余儀なくされた。令和 3 年度事業計画は、平成 30 年度に見直しを行った中期計画の最終年度となることから、可能な限り予定通りに実施し、重点事業の目標達成を目指したいと考えている。

しかしながら、目標を達成するための具体的な取り組み等は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、感染の状況に応じて柔軟に対応する必要がある。したがって、どのような方法で実施することが最善であるか、常に見直しを進めながら目標達成のために最大限の努力を行っていく。

I 建学の精神

「親心に応えて悠久不滅の生命の理想に向かって精進する」人間を育成する。

II ミッション・ビジョン

(1) ミッション

- ①「親心に応えて悠久不滅の生命の理想に向かって精進する」という「建学の精神」と「五訓」である「正直・勤勉・清潔・和合・感謝」を基礎に、心豊かな人間性を有する女性を育成する。
- ②生涯にわたって、社会の変化に対応できる幅広い視野を持ち、グローバル社会に貢献できるための生き方・在り方について自ら考え、判断し、行動することができる女性を育成する。

(2) ビジョン

- ①感性や社会性を身につける学びを通して、ひとりの人間としての確かな土台をつくりあげるとともに、生徒の学力を着実に伸ばし、高い進路目標を達成している。
- ②学習活動、部活動、学校行事等を通じて、多様性を認め、自己の主体性を確立し、豊かな感性と感謝の心を兼ね備えた女性を育成している。
- ③比治山の女子教育のブランドイメージが高まり、生徒、保護者、教育関係者から信頼され存在感のある学校になっている。
- ④中期収支見込の黒字化に向け、経営改革の取り組みを着実に進めている。

Ⅲ ビジョン及び重点事業

中期計画の終了年度となる令和3年度事業計画には、ビジョンの達成に向けて、重点事業を定め、具体的な取り組みを着実に推進する。

ビジョン（中期計画）	令和3年度の重点事業	具体策
①感性や社会性を身につける学びを通して、ひとりの人間としての確かな土台をつくりあげるとともに、生徒の学力を着実に伸ばし、高い進路目標を達成している。	基礎学力の確実な定着と、それを基盤とした主体的、対話的で深い学びを実践し、更なる学力向上に取り組む。	進学コース・英語コースの卒業生全員を第一志望校に合格させるとともに、特進コースの卒業生の60%以上を国公立大・難関私立大学に合格させるために、長期休業期間中・放課後に、既習内容の応用力強化、受験対応力向上等を目的とした補習・補講を全校で実施する。
③比治山の女子教育のブランドイメージが高まり、生徒、保護者、教育関係者から信頼され存在感のある学校になっている。	特色ある「比治山の女子教育」を推進する。	全ての授業でICTの活用等による教育内容の特色づくりを進め、各教科の校内研究授業を深化させる。
		アカデミックインターン・SSTなど、比治山大学の資源を有効に活用した中高大連携を推進する。
④中期収支見込の黒字化に向け、経営改革の取り組みを着実に進めている。	志願者数、入学者数を確保する。	充実したオープンスクール等の開催により、比治山ブランドを高める広報を充実させる。
		ひじやまセミナーの開催・クラブ体験会などを通じて、部活動の充実をPRし学校の魅力アップを図る。